

警察庁のまとめによると、平成30年中の行方不明者届出受理数は、8万7962人で、前年比3112人増加しています。このうち、認知症行方不明者は、平成24年以降年々増えており、

1万6927人と、前年か

ら1064人増加しています。

過去には、徘徊^{はいかい}していた認知症行方不明者が、列車にはねられ死亡したり、路上や用水路に倒れて命を落としたり、といった事件や事故に巻

「認知症行方不明者」の状況

き込まれるケースが起きています。

認知症行方不明者は早期に発見して保護しなければ、命に関わりま
す。そのためには、地域全体で高齢者への見守り活動を行い、行方不明

情報発信に
対して素早く対応する
など、官民一

体での取り組みが重要です。

徘徊している高齢者を見かけた場合は、優しい言葉で声をかけ、すぐに警察等に通報
しましょう。

防犯一口メモ